



きんたろう
金太郎



むかしむかし、

あしがらやま やま
足柄山の山おくに、

きんたろう おとこ こ
金太郎という男の子が

いました。



金太郎きんたろうが生まれうれた日ひに、

不思議ふしぎなことがありました。

その日ひ、空そらにりゅうが

あらわれたのです。

お母さんかあは、とてもびっくり

しました。



金太郎は、お母さんと

二人で、くらしていました。

金太郎の友だちは、

山の動物です。

みんな、とてもなかよしです。



金太郎きんたろうは、毎日まいにち

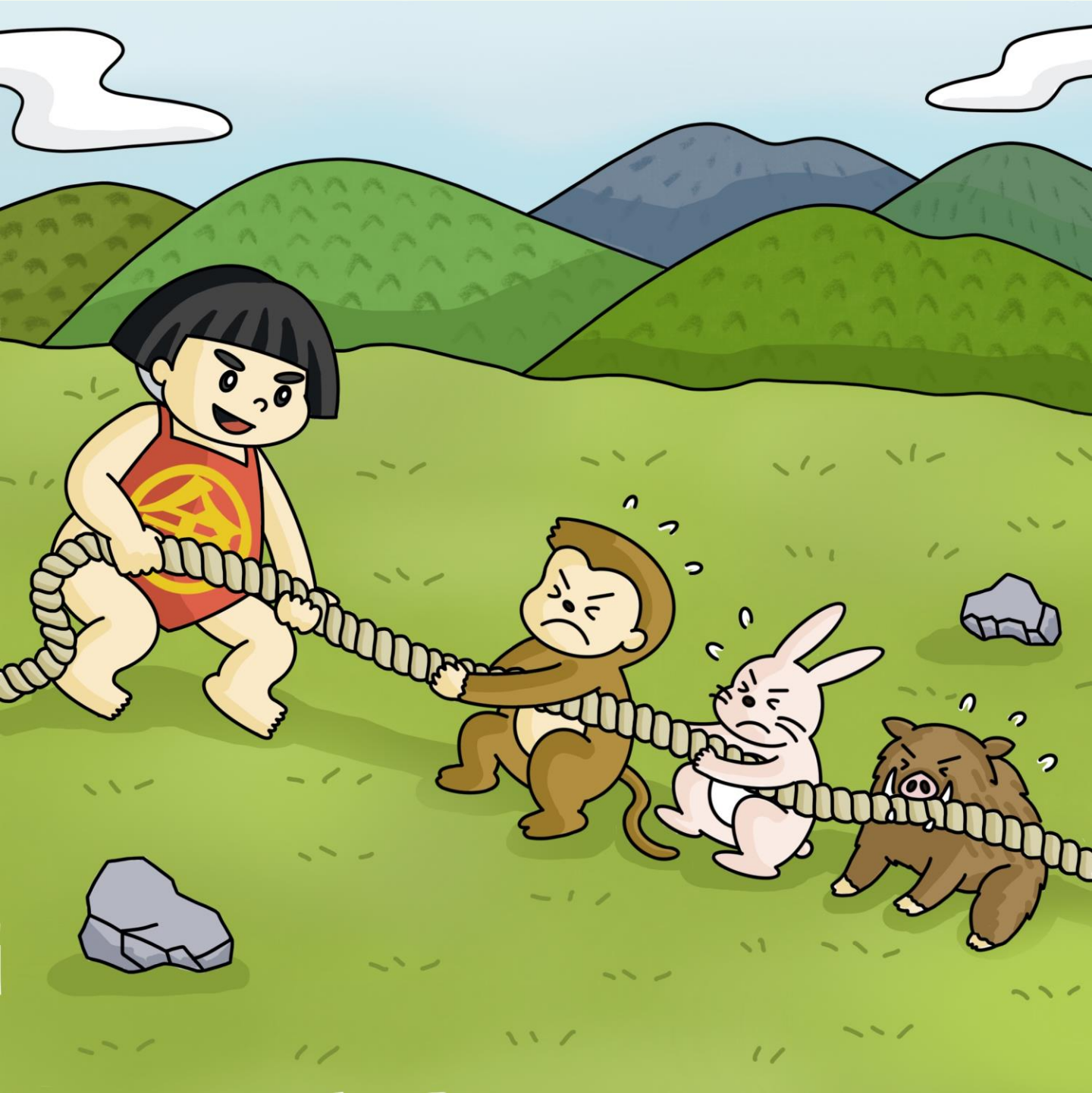
つな引きひをしたり、

かけっこをしたりして、

動物どうぶつたちと遊あそびます。

金太郎きんたろうは、とても強つよいので

負まけません。



今日は、すもうをして

遊びます。

金太郎は、熊と

すもうをとっても、

勝ちます。



ある日、^ひ金太郎と^{きんたろう}

動物たちは、^{どうぶつ}遊びに^{あそ}

行きました。^い

すると、あれ？

橋が、^{はし}こわれています。

みんな、とても^{こま}困りました。



そこで、きんたろう金太郎は

言いいました。

「ぼくが、はし橋をつく作るよ！」

「ええいっ！」

おお大きなき木をたおしました。



橋^{はし}ができました。

みんな、喜^{よろこ}んで

橋^{はし}をわたりました。

それを一^{ひとり}人のさむらいが、

遠^{とお}くから見^みていました。



さむらいは、きんたろう金太郎のいえ家に

行いきました。

そして、お母かあさんに言いいました。

「きんたろう金太郎は、つよこ強い子こです。みやこ都こには、

悪わるいことをするおにがいます。

そのおにをたおせるくらい、

強つよいさむらいになれますよ。」



金太郎きんたろうが、家いえに帰かえってきました。

さむらいの話はなしを聞きいて、

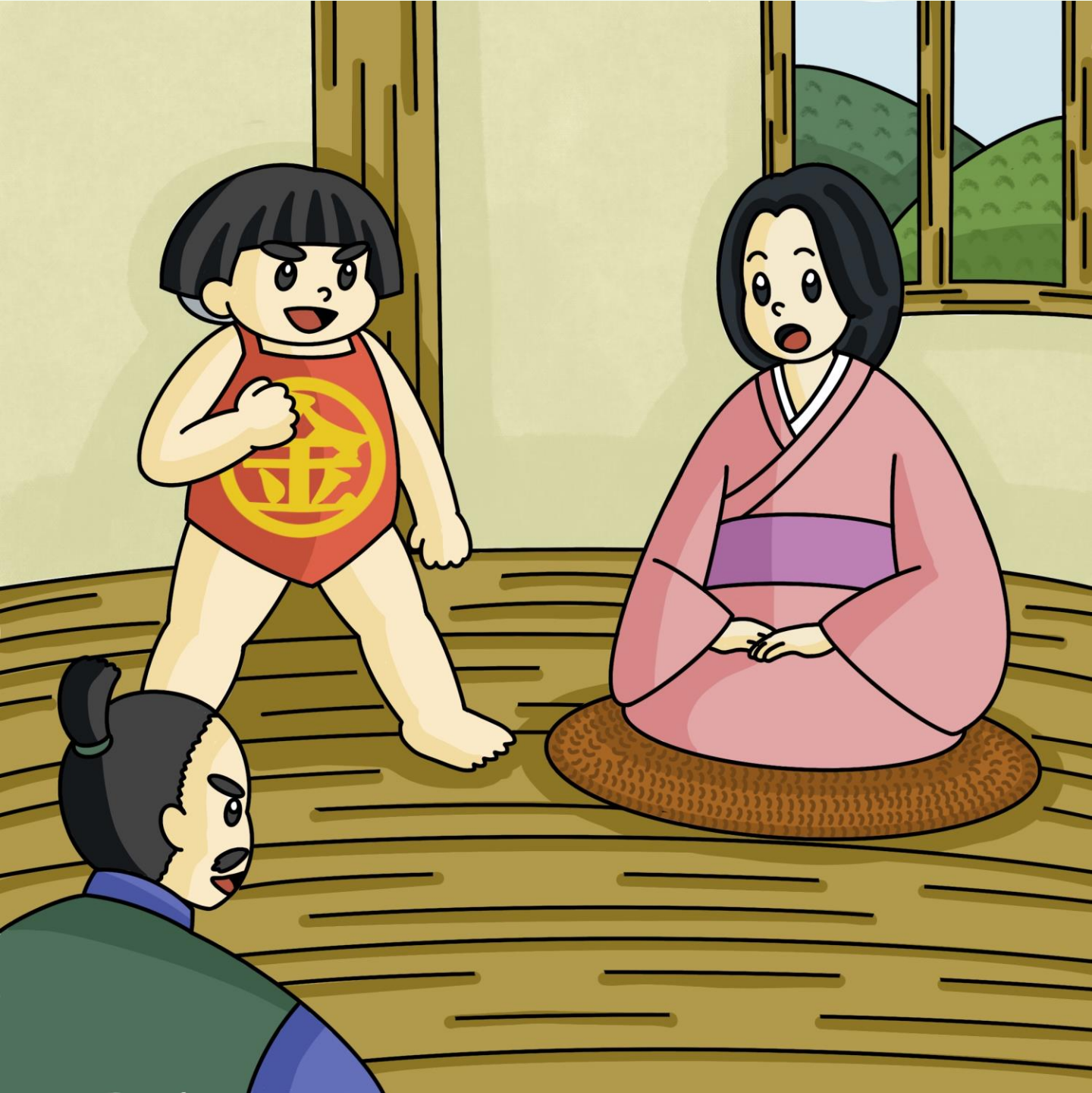
金太郎きんたろうは、お母かあさんに言いいました。

「ぼく、都みやこに行くよ。」

りっぱなさむらいになりたい。

そして、おにをやっつけて、

みんなを助たすけたい。」



金太郎きんたろうは、さむらいと

いっしよに都みやこに行くことに

なりました。

お母さんかあと動物どうぶつたちは、

「行いってらっしやい。がんばってね。」

と、手てをふりました。



金太郎は、都で毎日毎日、

けんのけいこをしました。

そして、強いさむらいに

なりました。

いよいよ、おに退治に

行く日になりました。



金太郎きんたろうは、なかまのさむらいと

いっしょにおにをやっつけます。

毎日まいにち、けんのけいこをしたので、

金太郎きんたろうは強いつよです。

悪いわるおにたちは、とうとう負けまました。

「もう悪いわることはしません。」

と、おには言いいました。



金太郎きんたろうとなかまのさむらいは、

おにつかまっていた人ひとたちを、

助け出たすしましただ。

みんな、家いえに帰かえって、家族かぞくと会あえました。

みんな、大喜おおよろこびでした。

そして、都みやこは平和へいわになりました。

めでたし、めでたし。



おしまい



きん た ろ う
金太郎

- 【 絵 】 吉野香菜恵
【 作 】 塚越恵美・辻雅代・坂内泰子・樋口万喜子
古屋恵子・吉田涼子・吉見江利
【 助 成 】 公益財団法人ベネッセこども基金
【 企 画 】 地球っ子教室 (認定NPO法人地球学校)



公益財団法人
ベネッセこども基金